



公益社団法人 全国スポーツ推進委員連合

理事会議事録

1. 日時 令和5年5月18日(木) 午後1時50分～午後3時12分
2. 会場 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 3階 会議室1
(〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2)
一部役員はオンラインにより参加
3. 出席者 代表理事・会長 阿達雅志
理事・副会長 土谷忠昭 石川一美 廣瀬孝作
専務理事 柳沢和雄 (リモート参加)
理事 紺谷好範 石島邦行 飯田忠子 堤卓雄 馬場宏
山本博一 斉喜博美 赤木弘蔵 城門政文 寺澤次雄
(理事16名中15名出席)
監事 西島寛 中田貢

4. 議題

(1) 審議事項

- ① 第1号議案 第65回全国スポーツ推進委員研究協議会開催地(宮崎県)について
- ② 第2号議案 令和4年度事業報告承認の件
- ③ 第3号議案 令和4年度貸借対照表・正味財産増減計算書・財産目録承認の件
- ④ 第4号議案 令和5年度定時総会開催日程について

(2) 報告事項

- ① 事業委員会報告
- ② 研修委員会報告
- ③ その他

午後1時50分 開会

5. 開会

開会に先立ちリモート参加の柳沢専務理事と通信状況に問題がないことを確認した。

議事に入る前に、阿達会長から発言があった、その中で、職務報告として喫緊の課題である部活動の地域移行が成功するにはスポーツ推進委員の活動が不可欠で、スポーツ庁に対し推進委員の声に耳を傾けるよう働きかけている旨の報告があった。

○ 議長の選任

理事会の議長は、定款第32条の規定により「会長がこれに当たる」と定められており、阿達雅志会長が議長を務めることを確認した。

○ 出席理事数の確認

出席理事数について、理事現在数16名中、現時点で15名が出席し、定款第33条第1項の要件を満たし、本理事会は成立している旨の確認がなされた。

○ 議事録署名人の選任

定款第34条第2項の規定により、阿達雅志会長と出席監事が本理事会の議事録署名人となることの確認がなされた。

6. 議 事

◆ 審 議 事 項

① 第1号議案 第65回全国スポーツ推進委員研究協議会開催地（宮崎県）について

令和6年度に開催される第65回全国スポーツ推進委員研究協議会について、宮崎県から提出された現時点における開催要項（案）のとおり宮崎県で開催することを確認した。

本件について特に意見等はなく、第65回全国スポーツ推進委員研究協議会の開催地を宮崎県とすることとし、総会で確認のうえ、スポーツ庁との共催を図ることとなった。

② 第2号議案 令和4年度事業報告承認の件

柳沢専務理事から、令和4年度事業報告について、資料に基づき説明がなされた。

その主な内容は、コロナ禍にあって参加人数を制限したうえで第63回全国スポーツ推進委員研究協議会（滋賀県）を対面で開催したこと。地区研修会については開催時期により中止した地区もあるが対面で開催できた地区があったこと。ファミリー健康体力向上事業中央講習会は実施できなかったこと。スポーツ推進委員リーダー養成講習会は久々に対面で開催にしたこと。生涯スポーツ・体力づくり全国会議2023においてはセッションを担当したこと。機関誌「みんなのスポーツ」の編集などについて報告が行われた。

本報告に対し質問・意見等はなく、令和4年度事業報告については、採決の結果、異議なく承認された。

③ 第3号議案 令和4年度貸借対照表・正味財産増減計算書・財産目録承認の件

細矢事務局長から、資料に基づき説明が行われた。

事業報告にあったとおり。新型コロナの影響で事業が予定通り実施できなかったものがあり、当初予算では赤字となっていたが結果的に黒字となった旨の説明があった。

次に、中田監事から、監査を実施したところ「適正に処理されていることを確認した」旨の監査報告があった。

本説明・報告に対し、中止になった地区研（関東地区）に対しても負担金が支払われたことについて確認が求められ、中止となったが準備に費用負担が生じていることから支給した旨の説明があった。

ほかに質問・意見等はなく、令和4年度貸借対照表・正味財産増減計算書・財産目録及び監査報告については、採決の結果、異議なく承認された。

④ 第4号議案 令和5年度定時総会開催日程について

令和4年度事業報告などを審議するため、令和5年度定時総会を招集する件が諮られた。

なお、平成元年総会時に、次年度定時総会からスポーツ推進委員の在り方検討を進めるうえで会長間の情報交換を行うことが合意されていた。しかし、新型コロナの影響で実施が見送られた経緯があり、この会長間の情報交換を令和5年度定時総会当日に実施するかどうかについても諮られた。

協議の結果、令和5年度定時総会は6月8日（木）午後1時から日本青年館ホテルイエールームにおいて対面で開催し、総会終了後、「スポーツ推進委員の在り方検討」に関する会長間の情報交換を実施することとなった。

◆ 報告事項（含：職務執行役員報告）

① 柳田理事辞任について

事務局から5月9日付で柳田利夫理事（栃木県会長＝関東地区推薦）から理事辞任の申し出が届いた旨の報告があった。

これに関し、関東地区としては、来る6月8日の定時総会までに後任理事推薦の手続きがとれない旨の発言があり、来年の役員改選期まで理事1名減となることが確認された。

② 事業委員長報告

石川事業委員長から、8月11日（金）・12日（土）に新宿スポーツセンターにおいてファミリー健康体力向上事業「中央講習会」が開催される旨の報告があった。

③ 研修委員長報告

土谷研修委員長から、令和4年度はリーダー養成講習会を3月11日（土）・12日（日）に久々に対面で行った。令和5年度も対面で会場を国立オリンピック記念青少年総合センターに戻して令和6年3月9日（土）・10日（日）に実施する旨の報告がなされた。

7. その他

① 功労者表彰推薦枠について

3月9日の理事会で提案のあった推薦人数算定基準見直しについて協議した。推進委員数の減少や推薦枠を設けることで対象から外れる人が出ることについての対応について協議したが結論は得られず、総務委員会で本年度中に結論を得られるよう検討することとなった。

表彰に関連し、被推薦の要件としている機関紙「みんなのスポーツ」購読と「推進委員手帳」購入について市町村によっては被表彰推薦数と購読・購入数に齟齬があるとの指摘があり、それぞれの県における確認手順の披瀝があった。購読・購入の領収書を添付させる例、日本体育社に購入・購読を照会する例、全国連合でチェックが入るので推薦される人は確実に購読・購入するよう推奨すれ例などが示された。

② 賛助会費の税控除について

3月9日の理事会で確認を求められた賛助会費の税控除について、事務局から、内閣府に対し控除対象団体となるよう申請した旨の報告があった。

③ グッズ（ポロシャツ）販売価格について

事務局からポロシャツの仕入れ価格が高騰に伴い販売価格を550円値上げする提案があり認められた。

8. 閉会

議長より、以上をもって理事会を閉会する旨の発言があり、理事会は滞りなく終了した。

午後3時12分閉会

-----○-----

令和5年5月18日(木)

以上のとおり議事録が正確であることを証し、署名捺印する。

議事録署名人 議長

阿達雅志



監事

西島寛



監事

中田寛





公益社団法人 全国スポーツ推進委員連合

定 時 総 会 議 事 録

1. 日 時 令和5年6月8日(木) 午後1時～午後2時47分
2. 会 場 日本青年館ホテル イエロールーム
3. 出席者 出席正会員 北海道 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県
福島県 茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県(委任状)
千葉県 東京都 神奈川県 長野県 新潟県 富山県
石川県 福井県 岐阜県 静岡県 愛知県 三重県 滋賀県
京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県 鳥取県 岡山県
広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県
福岡県 長崎県 佐賀県 大分県 宮崎県 鹿児島県(代理)
(正会員43名出席)
- 名誉会長 齊藤斗志二
- 出席理事 土谷忠昭 石川一美 廣瀬孝作 柳沢和夫 紺谷好範
石島邦行 堤 卓雄 馬場 宏 山本博一 斉喜博美
赤木弘蔵 城門政文 寺澤次雄
(理事16名中13名出席)
- 監 事 西島 寛 中田 貢
- スポーツ庁 橋田 裕氏(スポーツ庁地域スポーツ課長)

4. 議 題

都道府県スポーツ推進委員協議会会長の異動報告

(1) 審議事項

- ① 第1号議案 第65回全国スポーツ推進委員研究協議会(宮崎県)について
- ② 第2号議案 令和4年度事業報告の件
- ③ 第3号議案 令和4年度貸借対照表・正味財産増減計算書・財産目録承認の件

(2) 報告事項

- ① 第63回全国スポーツ推進委員研究協議会(滋賀県)について
- ② 第64回全国スポーツ推進委員研究協議会(青森県)について
- ③ 令和元年度ファミリー健康体力向上事業「中央講習会」
及びリーダー養成講習会日程
- ④ 機関誌「みんなのスポーツ」及び「スポーツ推進委員手帳」の現況について

午後 1 時開会

5. 開 会

○出席正会員数の確認

柳沢専務理事から、出席正会員数について、正会員 43 名が出席、定款第 17 条第 1 項の規定に基づき、本定時総会は成立している旨の確認がなされた。

○挨 拶

阿達雅志全国連合会長

参議院外交防衛委員長の任にある阿達雅志会長（参議院議員）は、国会日程の関係で出席できず定時総会にビデオメッセージを寄せ、その中で、部活動地域移行に関して、自ら推進委員の意見が反映されるよう文部科学省・スポーツ庁に働きかけていくとしたうえで、本日、スポーツ庁の橋田課長から説明があること、また、ミズノスポーツ財団から全国連合に対し助成金の目録が手交されることに触れながら挨拶があった。

公益財団法人ミズノスポーツ振興財団から「助成金」の贈呈

公益財団法人ミズノスポーツ振興財団の水野英人副会長から、2023年度の「地域スポーツの普及振興に対する助成金」の目録が齊藤斗志二連合名誉会長に手交された。

橋田裕スポーツ庁地域スポーツ課長

橋田課長から挨拶に加え、部活動の地域移行に関し、地域の子供たちは地域で育てる意識のもとに地域スポーツの環境整備の必要性について、資料を基に説明がなされた。

その後、質疑応答があり、総括コーディネーターは誰が誕生させるのか、また、市町村のコーディネーターはどうするのかについての話がないまま、人材バンクの話ばかりが先行する結果となっていること、中学生の大会に関し、合同チームが大会参加要件に合致しない現実があること、学校から地域に移行する期間をどの程度と考えているのか、クラブを置けない離島についてどう考えているのか、クラブ参加費用負担への支援の要望、教員の働き方改革も大事だが子供たちのスポーツ環境整備を先行してほしい、スポーツ環境整備には人・カネ・モノが必要で、働き方改革で処遇の改善が必要だといった質問・意見が述べられた。

○議長の選任

定款第 15 条「総会の議長は、当該総会において、出席正会員の中から選出する」の規定により、協議の結果、静岡県の田畑勝次会長が議長に互選された。

○議事録署名人の選任

議長から、定款第19条第2項の規定により、本定時総会の議事録署名人として、福井県の杉山弘行会長と京都府の吉田享司会長の両氏にお願いしたい旨が諮られ、議長提案のとおり選任された。

○都道府県スポーツ推進委員協議会会長の異動報告

議長から、都道府県スポーツ推進委員協議会会長の異動報告が行われた後、各新会長からそれぞれ簡単に挨拶がなされた。

(栃木県) 伊藤 和彦 (千葉県) 阿井 伸也

6. 議 事

◆審議事項

①第1号議案 第65回全国スポーツ推進委員研究協議会（宮崎県）について

令和6年に第65回全国スポーツ推進委員研究協議会が予定されている宮崎県の岡本真奈美会長及び宮崎県スポーツ振興課副主幹片山真貴氏から歓迎の言葉と、現段階における準備状況等について説明がなされた。

期日：令和6年11月14日（木）・15日（金）

会場：ひなた武道館 ほか

日程：1日目 開会式・表彰式、講演・シンポジウム 2日目 第1～3分科会

本件について特に意見等はなく、第65回全国スポーツ推進委員研究協議会の開催地を全国連合としては宮崎県とすることとしスポーツ庁と共催を諮ることとなった。

②第2号議案 令和4年度事業報告の件

柳沢専務理事より事業の報告が行われ、その主な内容は、第63回全国スポーツ推進委員研究協議会（滋賀県）は新型コロナの影響で人数を制限したものの久々に対面で開催できたこと、地区研修会については新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止となった地域もあるが、動画配信や冊子配付による研修を行った地域もあること。ファミリー健康体力向上事業中央講習会は実施できなかったこと。スポーツ推進委員リーダー養成講習会は久々に対面で開催にしたこと。生涯スポーツ・体力づくり全国会議2023においてはセッションを担当したこと。機関誌「みんなのスポーツ」の編集を行っていることなど。

本報告に対し、特に意見はなく、令和4年度事業報告は了承された。

③第3号議案 令和4年度貸借対照表・正味財産増減計算書・財産目録承認の件

細矢事務局長から、資料に基づき説明が行われた。主たる収入源である会員会費が、どのような用途に使われているかについて説明がなされ、理事会開催関係経費、全国大会表彰費、地区研助成などに触れ、新型コロナの影響は徐々に小さくなってきたものの

予算どおりの事業実施を行うことができず支出が少なかった部分があり、結果として黒字になった旨の説明があった。

次に、中田貢監事から、監査報告があった。

本説明及び報告に対し、理事会参加のための旅費を全国連合が負担していることの是非、また、全国から集まることの理事の負荷及び旅費負担軽減の観点から理事会はリモート開催を検討すべきとの意見が出され、今後理事会等で検討することとなった。

他に質問・意見等はなく、令和4年度貸借対照表・正味財産増減計算書・財産目録及び監査報告については、採決の結果、異議なく承認された。

◆報告事項

① 第63回全国スポーツ推進委員研究協議会（滋賀県）について

コロナ禍にあつて参加人数を制限して久々に対面で実施された滋賀大会について、山本博一会長から経過報告とともに参加へのお礼が述べられた。

② 第64回全国スポーツ推進委員研究協議会（青森県）について

本年11月に開催予定の標記研究協議会について、青森県の目澤伸一会長から、その後実行委員会事務局を担当する舘山泰知氏から、配付資料に沿って準備状況等の報告が行われた。

③ ファミリー健康体力向上事業について

事業専門委員会の石川一美委員長から、8月11日（金）及び12日（土）に新宿スポーツセンターにおいて久々に中央講習会が開催される旨の報告がなされた。

④ スポーツ推進委員リーダー養成講習会について

研修専門委員会の土谷忠昭委員長から、今年度の日程（令和6年3月9日（土）・3月10日（日）於：オリンピック記念青少年総合センター）について報告がなされた。

⑤ 機関誌「みんなのスポーツ」及び「スポーツ推進委員手帳」の現況について

細矢事務局長から、機関誌等の販売が増えていない状況から、都道府県会長には各市町村に販売促進の働き掛けをお願いしたい旨の要望がなされた。

7. その他

「バウンスボール」について

鳥取県の上田秀美会長から同県のスポーツ推進委員が考案した「バウンスボール」について説明があった。

関東地区研の開催について

明日から開催される関東地区研修会について、開催地の群馬県蜂須聖司会長から報告があった。

8. 閉会

議長より、議事進行協力への感謝の言葉と、以上をもって定時総会を閉会する旨の発言があり、定時総会は滞りなく終了した。

定時総会閉会后、都道府県会長間の情報交換を行った。

午後2時47分閉会

本議事録が正確であることを証するため、議長、出席正会員2名が記名押印する。

令和5年6月8日（木）

議長 田畑勝次 

正会員 杉山弘行 

正会員 若田亨司 



公益社団法人 全国スポーツ推進委員連合

理事会議事録

1. 日時 令和6年3月8日(金) 午後2時～午後3時15分
2. 会場 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟106
3. 出席者 会長 阿達雅志
理事・副会長 土谷忠昭 石川一美 廣瀬孝作
専務理事 柳沢和雄
理事 紺谷好範 石島邦行 飯田忠子 堤卓雄 馬場宏
山本博一 斉喜博美 赤木弘蔵 城門政文 寺澤次雄
(理事16名中15名出席)
監事 西島寛 中田貢
4. 議題
 - (1) 協議事項
 - ① 第1号議案 令和6年度事業計画(案)について
 - ② 第2号議案 令和6年度収支予算(案)について
 - (2) 確認事項
「役員選出基準」について
 - (3) その他
「理事会の在り方」について

午後2時開会

5. 開会
 - 出席理事数の確認
出席理事数について、理事現在数16名中、15名が出席しており、定款第33条第1項の規定により、本理事会は成立していることを確認した。
 - 議長の選任
理事会の議長は、定款第32条に「会長がこれに当たる」と定められていることか

ら阿達会長が議長を務めることを確認した。

○ 役員職務執行報告

会長、副会長、専務理事それぞれから職務執行報告があり、阿達会長からは報告に加え次の発言があった。

部活動の地域移行に関しては、文科省・スポーツ庁に対しスポーツ推進委員の声を良く聴きながらやるよう働きかけていること、また、推進委員の処遇改善について、推進委員が市町村の委嘱となっていることから、それぞれの地域における報酬等が一律でないので、推進委員を地域移行の柱にするということであればスポーツ庁としては各地域における処遇のレベルを揃えるなど考えるよう働きかけていること、公益法人制度見直しについては、今国会において公益法人制度・公益信託制度改革に関する改正案が出され、公益法人の経営が柔軟にできるよう見直しがなされることなど。

○ 議事録署名人の確認

定款第34条第2項の規定に、出席した会長及び監事が議事録に記名押印するとされており、出席した会長及び監事が署名することを確認した。

6. 議事

◆ 協議事項

① 第1号議案 令和6年度事業計画（案）について

柳沢専務理事より、令和6年度事業計画（案）について、資料に基づいて提案説明が行われた。

その主なものは、1) ファミリー健康体力向上事業の実施 2) 全国スポーツ推進委員研究協議会の開催 3) スポーツ推進委員地区研修会の開催 4) スポーツ推進委員リーダー養成講習会の開催 5) 機関誌「みんなのスポーツ」・「スポーツ推進委員手帳」の販売促進等

特に質問・意見はなく令和6年度事業計画（案）は、異議なく承認された。

② 第2号議案 令和6年度収支予算（案）について

細矢事務局長より、令和6年度収支予算（案）について、提案説明が行われた。

収入面については、コロナ禍で控えていた全国表彰被表彰者を対象とした賛助会員の新規開拓を再開したものの賛助会員会費は減少傾向にあること、グッズ販売関係は過去の実績を勘案しながら増額予算を計上したこと等。

支出については、グッズ販売増に伴う仕入れ額の増加を見込んだこと、ファミリー健康体力向上事業について測定会実施県が昨年より多く支出が増えること、また、新規事業参加希望は出されていないが、参加を期待しながら予算計上した結果単年度収支では赤字となった。

本説明に対し、概略以下の質疑応答が行われた。

質問) 都道府県の研修会及び初任者研修会への助成について47都道府県を対象とした予算を組んでないが、研修会など実施しながら連合に申請しない例があるのではないか。

答え) 助成金については過去の実績から予算を計上した。初任者研修に対する連合の助成は平成24年度から実施しているが、まだ全都道府県からの申請に至っていない状況にある。

意見) 滋賀県では初任者のみの研修とすると集まりが少ないので「スキルアップ研修」という名目に変えようと考えている。

意見) 三重県では経験年数に差があると話が合わなくなるので、経験年数で分けし初任者、5年～10年、10年以上といった階層別の研修を行っている。市町村単位の研修は連合で把握できていないようだが、県は県として推進委員について方向性を示すことは重要と考えるので県主催の研修会に連合が助成することは適切だと考える。

議長) 連合が助成するには基準が必要で現状の「県」を単位とすることで良いのではないか。

他に質問・意見はなく、令和6年度収支予算(案)は異議なく承認された。

◆確認事項

「役員選出基準」について

役員選任規程第2条により普通会員数に基づき算定した「役員選出基準」(枠は前回と同じ)を確認した。

7. その他

「理事会の在り方」について

昨年の定時総会で「理事会参加のための旅費を全国連合が負担していることの是非、全国から集まることの理事の負荷及び旅費負担軽減の観点から理事会はリモート開催を検討すべし」と提案があったことに関して意見交換した。

議長) コロナ禍では対面での会議開催ができない時期があり、そういった場合はオンラインを活用した。今日も新幹線に遅れが生じたように、また、災害で来られない状況があったりする。そういう場合はオンラインを活用することもある。基本的には対面の方がコミュニケーションをとり易いと思う。対面を基本としながら状況によって出席できない場合はオンラインも可とする。そういう整理もあると思う。皆さん方から意見があればお述べいただきたい。

意見) 総会での東京都の提案は、財政面のことを念頭においての発言と理解している。全国連合収入の主たる賛助会員会費や普通会員会費の納付額は関東ブロックが多く

を占めている。費用負担と還元の観点で現状をみると公平・公正だと言えない状況にあるのではないか。財政に関しては、推進委員制度の起こりが文部省であることから事務所経費は国が負担し、都道府県会長の正会員費や賛助会費があれば連合の運営できる。理事会は対面を基本とする場合、総会参加費用を都道府県が負担しており理事会も各都道府県協議会が負担するようにすればよい。

議長) 東京は財政が豊かで地方との差がある。東京と地方の差、この差をどうするかは難しい問題がある。全国連合の本部が東京にあるので理事会は東京で開催される。地方から来るのに所属協議会で負担してほしいと言にくい部分もある。現状、都会の皆さんにおんぶにだっことなっている部分があることは否定できない。組織の財政的な面も含めこの問題は一旦預からせていただき、精査したうえで、今後、検討させて欲しい。(異論なし)

意見) 推進委員には全国連合組織を守る精神をもってやってもらいたいと思っている。自分は現在の会費ワンコイン(500円)を550円に値上げしても良いと思っている。リーダー養成講習会参加者が初任者研修の講師となって全国の方針を伝える仕組みになっている。また、文科大臣表彰といった表彰を各県の会長推薦で受けられるのは他の組織にない。連合があるから可能なのだ。連合では困っている人があれば助けるのが筋だと思う。

意見) 会議の持ち方はリモートやハイブリッドなど色んな形があると思う。財源を確保する観点から言えば機関誌や手帳の販売が増えれば連合に還付があるので問題は解消するはず。機関誌の売り上げを伸ばす方が会費を50円値上げするより簡単ではないか。

議長) 推進委員は国の制度でありながら市町村の委嘱となっている。委嘱する市町村一県一全国連合の流れの中で意見集約にずれが生じることもある。この組織が財政面を含めどのように運営していくか課題を整理しながら今後検討していきたい。

8. 令和6年度第1回理事会日程について

議長より、令和6年度第1回理事会の日程について、来る5月17日(金)に開催することが告げられた。

9. 閉会

議長より、以上をもって理事会を閉会する旨の発言があり、理事会は滞りなく終了した。

午後3時15分閉会

令和6年3月8日（金）

以上のとおり議事録が正確であることを証し、署名捺印する。

議事録署名人 議長

阿達雅志 

監事

西島寛 

監事

中田真 